



The 8th General Conference
of EASTICA & Seminar
2007, 10, Tokyo

まえがき

EASTICA (国際公文書館会議東アジア地域支部 - East Asian Regional Branch of the International Council on Archives) は、東アジア地域における公文書館分野の活動の推進等を目的として結成された、ICA (国際公文書館会議 - International Council on Archives) の10番目の地域支部です。現在の会員国及び地域は、日本・中国・韓国・モンゴル・北朝鮮・香港・マカオの5か国2地域です。日本からは国立公文書館のほか、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会、企業史料協議会、ユタ系図協会東京支部が会員となっています。

1993年(平成5)7月に北京で開催されたEASTICAの創立総会において、EASTICA憲章が採択され、その規定により総会が2年ごとに開催されることになりました。1997年10月に第三回総会を日本で開催しましたが、それから10年ぶりの日本での開催となりました。

今回は2007年10月21日から26日まで、EASTICA第8回総会およびセミナーが都内ホテル等で開催されました。会合には、我が国をはじめ中国、韓国、モンゴル、香港、マカオの各EASTICA会員国/地域から、段東升中国国家档案局副局长、曹潤明韓国国立公文書館長、Demberel Ulziibaatarモンゴル国立公文書館長等約150名が参加しました。

「電子政府化の進展と電子記録管理」をテーマとしたセミナー、「デジタル時代のアーカイブ - アジアからの発信 - 」と題したシンポジウムを通して、我が国のみならず世界的な課題に対して互いの経験や知識を出し合う場面がみられました。また、国立公文書館の視察をはじめ、都内視察や夕食会等を通して、東アジアの公文書館関係者が交流の輪を広げることができたと思います。話題を提供していただいた米国国立公文書記録管理局の電子記録アーカイブ(ERA)プログラム・ディレクターのケネス・ティボドー氏、筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授杉本重雄氏、東京大学史料編纂所教授保立道久氏、マレーシア国立公文書館電子記録支援業務責任者シャイディン・シャフィー氏をはじめ、パネリスト等多くの方に感謝したいと思います。

これを契機に、日本国内外の公文書館相互の一層の連携を図るとともに、我が国の公文書館制度の充実、発展に取り組んでいこうと考えています。

本書は、第8回総会及びセミナー、シンポジウムの状況を紹介し、関係者はもとより、多くの方にEASTICAの活動に関心や興味を持っていただけるよう、報告書としての性格を持たせた特集号として編集しました。

終わりに、本書の刊行にあたりご協力いただきました関係者各位に厚く御礼申し上げます。